

## 予算議案 を問う

# 一般会計予算議案に 対する討論【要旨】

各会派等が、一定のスペースで自由にまとめたものを掲載しています。

3月25日の本会議で令和6年度一般会計予算議案に対する表決に先だち、各会派等を代表して賛成・反対の討論が行われました。紙面の都合上、実際の討論と異なる順番で記載しています。自由民主党国分寺、立憲・市民フォーラム、公明党、国分寺・生活者ネットワーク、無会派（れいわ新選組）、無会派（日本維新の会）、無会派（グリーンな国分寺）、無会派（日本共産党国分寺市議団）、無会派の順で行いました。

録画配信は  
こちらから  
(6月2日まで)



## 賛成

### 持続可能な予算編成を高く評価

はじめに令和6年度一般会計予算が令和5年度と比べて75億6869万円増の636億6131万7千円という過去最大の予算規模になったにも関わらず**経常収支比率96.6%**に踏みとどまる予算編成としたことは、井澤市長をはじめとする市職員全員が行うべき事業を行いつつ**経常費のスクラップ&ビルド**を行い、国分寺市の**持続可能な市政運営**に対し**真摯**に向き合ったからこそであると高く評価している。

「安全・安心で強靱なまち」では新庁舎移転に伴う災害対策本部の機能拡充するために地域防災計画をはじめとする**各種防災計画の見直し**を行うことや、災害時の自助力強化に向けた家庭用防災用品の購入に対する一部補助を**令和5年度に引き続き行う**ことを評価する。

「市制施行60周年と新庁舎への移転を契機とした更なるにぎわいの創出」では国分寺市制施行60周年記念事業を通じた新たなまちの魅力創出、また市史編さん事業の本格的着手を機に様々な歴史講座を行うことが**国分寺市への愛着**を根付かせるものになると評価している。

「思いやりが行き届くまち」では**地域共生社会の実現**に向け、**地域での介護人材確保**について注視する。また**移動支援や就労支援**にもこれまで以上の**サポート**を期待している。新規事業である**がん患者へのアピランスケア支援事業**は**がん治療を受けながら自分らしい社会生活を支援**する事業であり、**がん患者に寄り添う姿勢**は当事者に生きる希望を感じてもらえるものになると評価。

「平和への思いを共有し豊かな心を育むまち」ではピースメッセンジャー広島派遣や平和記念行事に加え、若年層**セクシュアルマイノリティへの支援事業**などを他市と連携して安心につなげていく考え方を大きく評価。また本年は**パリ五輪開催**の年であり東京五輪の経験を生かした本市応援アスリート情報の発信に期待する。

「活気ある暮らしやすいまち」では**西国分寺駅東口改札**の開設への熱意を示したことを高く評価。また戸倉公園の供用開始や**黒鐘公園の市有地化**を見ても限られた財政の中でも**必要なものはしっかりとやる**という姿勢を大いに感じる。

自由民主党国分寺  
(賛成6人)

鳥居あかね 対馬ふみあき  
森田たかし 丸山 哲平  
尾沢しゅう 新海 栄一



対馬ふみあき

「子育てにやさしいまち」では本年11月に**児童発達支援センター**が開所予定、令和7年4月に**こども家庭センター**を設置予定であり、どちらも**切れ目ない支援**をするための環境づくりをお願いしたい。

「未来につながる持続可能なまち」では国分寺市としてDX化への強い想いを押し出したことに大きな期待をしている。**デジタルデバインドに配慮**しつつ、ユニークな挑戦をしてもらいたい。また**ゼロカーボンシティの実現**やGXについても**先進モデル**となるようなイノベーションを実現するためにもこうした考え方への理解促進を図ってもらいたい。

このほか**こくぶんじ観光まちづくり協会**や**国分寺市スポーツ協会**の自走化支援、**PFAS**に対する**国・東京都と連携した広域的な課題解決**など国分寺市に期待される役割は非常に重要かつ多岐にわたるため、引き続き**真摯な対応**を求める。

## 賛成

### 市民の声・実態を柱にした税金投入を

#### ★「ボール遊び場」の実現

都市計画公園「戸倉公園」(公園整備工事費:1億5千万円)には、私たちの会派が求めてきた「**ボール遊び**」のできる設備が「**市内初**」として設けられる。子どもたちのためのこうした設備を市内の各地域に広げていただきたい。

#### ★「非正規職員」の賃上げを断行

労使で話し合いを重ね、市役所の非正規職員(月額会計年度任用職員)に「**勤勉手当**」を支給するとの対応がとられる。この手当の実現で**期末・勤勉手当(ボーナス)**の年間月数は正規職員と同じ4.65か月を予定することになる。「**賃上げによる経済の好循環の実現**」といった社会的課題への適切な対応でもある。

#### ★人材定着で市民に寄り添える体制づくりを

一方で、教育相談室の心理相談員(月額会計年度任用職員)が「**6人全員が退職**する」との事態を確認。「**不登校**」の増加(中学校は5年前比40人増の130人/2022年度の集計)といった課題を抱えるなかで、こうしたことが起きると困るのは、支援を受けている市民である。

専門職をはじめとして、人材の確保が難しくなっている今日、会計年度任用職員や正規職員が安定して働き続けることのできる環境整備に向けて取り組んでいただきたい。

#### ★地下水・水道水のPFAS問題

①希望する市民への血中濃度検査②地下水の汚染原因を特定するための調査。これらの実行を市として東京都に具体的に明確に求めるべき。

#### ★適切な価格転嫁で地域経済の再建を

小・中学校給食の食材費の値上がり分を保護者に求めず市が負担する(5,200万円)ことは、適切な家計支援策である。価格転嫁が進まず中小零細企業の疲弊が社会的課題となっているなかで、給食の事業者からは「この引き上げ額で**食材費高騰**に対応できる」との確認をとっているとのこと。

市と事業者との契約においては、物価高を考慮した適切な価格転嫁を実施し、この問題によって**地域経済が疲弊**することのない取り組みの実行を求める。

#### ★「子育て支援」を税収増につなげる視点を

立憲・市民フォーラム  
(賛成4人)

だて淳一郎 星いつろう  
及川 妙子 皆川りうこ



星いつろう

この4月の保育所入所では、一次申し込み段階で保育所が決まっていなかった人は、前年度より14人増えて181人。そこに二次申し込みの138人加わるとのこと。前年より待機児童が増えてしまうのではないだろうかとの心配がある。

納税者の増加が見込まれ、市税収入は前年度比8億6,523万円増と見積もられている。保育所増設による「**委託費用**」という支出増加が財政を圧迫するとの懸念も市より示されているが、保育所を増やし、共働き家庭をはじめ「**働く**」ことを支えてきたことが、この間の税収増に寄与していると言える。

この観点から、「**待機児童ゼロ**」実現にむけてベビーシッター利用支援や更なる保育所増設を早急に検討し取り組むことを求める。

どこにも預けることなく家のみで育てている保護者が切望している「**一時保育の施設と受け入れ数を増やす**」ことも喫緊の課題である。

## 反対

### 財源はある！物価高に苦しむ市民におカネを

市の貯金である基金の中から**財政調整基金**を取り崩し、全市民に**地域商品券**を配ることを決めたことは一定評価するが、手法や規模など効果を見守りたい。一方、基金総額は**目標値の2倍の100億円**。税収好調なら積み立てず市民生活

に直結する政策にただちに使うべきでは？**被災時の市民、職員へのケア**、**PFAS血液検査**や**ごみ袋無償化**、**空き家利活用**など**地域活動支援**など**物価高騰**に苦しむ**市民に直接お金を回す**べきだ。**非正規市職員**の勤勉手当導入は評価するが、

無会派(れいわ新選組)  
(反対1人)  
高野ふみお



高野ふみお

**5年ごとの更新を無期限にする、時給単価を上げる**などさらにアクセルを。財源はまだある。

## 賛成

### 未来への投資は〇／しかし改善点は多々あり

<賛成理由>新庁舎建設や市制施行60周年における予算に加え、シティプロモーションサイト作成等**これからの市に必要な予算が投資的に組まれている**といえるため。

<懸念事項>(1)子育て支援は一層拡充すべき。

これは**全世代へ影響する投資的な施策**のため。(2)スクラップ&ビルドのスクラップが**予算としてほぼされていない**。実施根拠が**非科学的・非合理的**なものは無くしていくべき。

(3)今後の見通しに対する**危機感が弱い**。市を取

無会派(日本維新の会)  
(賛成1人)  
寺嶋たけし



寺嶋たけし

り巻く環境は**今後より厳しくなるのは明確**なため、シビアな見立てが今以上に必須。